



沖縄県

令和7年度 沖縄県庁の概要

2025年12月

沖縄県人事委員会事務局



イントロダクション

主な内容

1. 組織を知る

県の役割／組織(機構図)

2. 仕事やキャリアを知る

求める人物像／主な役職／キャリアパス／
人材育成／充実した研修制度／国内外で活躍する職員

3. 働き方と仕組みを知る

給与等の仕組み／休暇制度／柔軟な働き方／
子育てとの両立支援



イントロダクション

主な内容

1. 組織を知る

県の役割／組織(機構図)

2. 仕事やキャリアを知る

求める人物像／主な役職／キャリアパス／
人材育成／充実した研修制度／国内外で活躍する職員

3. 働き方と仕組みを知る

給与等の仕組み／休暇制度／柔軟な働き方／
子育てとの両立支援



1.組織を知る

県の役割



国と都道府県、市町村の違いとは

国は、社会課題に対応するため、全国に影響する統一した仕組みづくりを行う。

都道府県は、「**国と市町村の橋渡し役**」を担う。また、市町村を超えて「**広域的な地域課題の解決**」を図るための事業を展開する。

市町村は、各地域に根ざして地域課題に対応する事業を実施する。



令和7年度主な事業（一般会計当初予算 約8,894億円）【単位:百万円】

I 強くしなやかな自立型経済の構築

新	I-1 UIJターン就職・転職活動交通費支援事業	29 (商工労働部)
拡	I-2 観光2次交通結節点機能強化事業	248 (文化観光スポーツ部)
拡	I-3 おきなわ農林水産物県外出荷促進事業	2,558 (農林水産部)
新	I-4 沖縄型スタートアップ拠点化推進事業	300 (商工労働部)
拡	I-5 新たな公共交通システム導入促進事業	194 (企画部)
新	I-5 航空機整備基地整備事業	93 (商工労働部)
	I-5 沖縄都市モノレール輸送力増強事業	3,364 (土木建築部)
拡	I-6 観光人材確保支援事業	406 (文化観光スポーツ部)

II 恒久平和の願いと未来の平和の発信～戦後80年を迎えて～

拡	II-1 沖縄県平和祈念資料館展示更新事業	83 (知事公室)
新	II-1 平和の礎等発信強化事業	38 (知事公室)
新	II-1 世界のウチナーンチュを通した平和啓発交流事業	29 (文化観光スポーツ部)
新	II-1 戦後80周年平和教育推進事業	7 (教育委員会)
新	II-2 米軍基地形成史の学び推進事業	13 (知事公室)
新	II-3 ハワイ姉妹都市40周年記念事業	41 (知事公室)
拡	II-4 次世代ウチナーネットワーク育成事業	87 (文化観光スポーツ部)

III 安心・安全に暮らせる沖縄へ

拡	III-1 本庁舎（行政棟）改修事業	2,986 (総務部)
拡	III-2 防災危機管理センター棟（仮称）整備事業	2,002 (総務部)
	III-3 啓発活動事業	26 (こども未来部)
新	III-4 重層的支援体制整備事業（市町村事業）	77 (生活福祉部)
拡	III-4 超高齢社会における地域つながり・支え合い推進事業	74 (保健医療介護部)
新	III-5 小規模離島等航空路線維持事業（物価高騰支援）	287 (企画部)
拡	III-5 市町村行政体制整備・広域連携支援事業	40 (企画部)
拡	III-5 北部基幹病院整備推進事業	5,915 (保健医療介護部)

IV 「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」の実現

新	IV-1 つながり・つなぐ支援の輪構築事業	28 (こども未来部)
新	IV-1 ひとり親就労チャレンジ事業	34 (こども未来部)
拡	IV-1 子育て総合支援事業	587 (こども未来部)
新	IV-2 沖縄県こども・若者計画推進事業	20 (こども未来部)
新	IV-2 沖縄県学校給食費無償化支援事業	1,145 (教育委員会)
新	IV-2 私立学校給食費支援事業	76 (総務部)

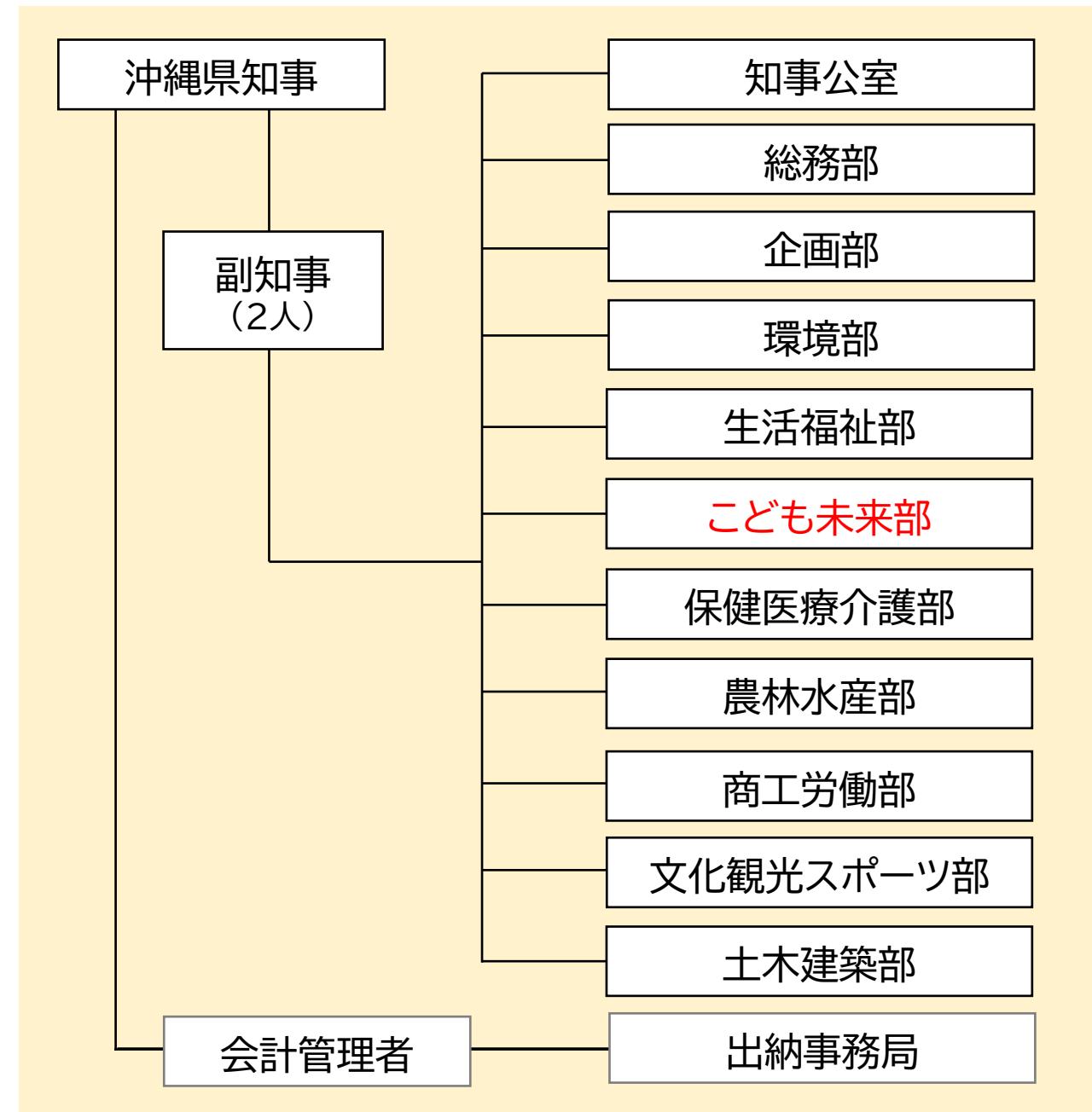
V 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化の継承・発展

新	V-1 離島・過疎地域におけるEV導入推進事業	14 (環境部)
拡	V-2 外来種対策事業	499 (環境部)
新	V-3 ユネスコ登録記念琉球泡盛魅力発信事業	23 (商工労働部)
新	V-3 チムグクルでつなぐ文化芸術振興基金事業	51 (文化観光スポーツ部)

1.組織を知る

県の組織

知事部局（1公室10部）



公営企業管理者

企業局

病院事業管理者

病院事業局

各種行政委員会事務局

教育委員会

県議会事務局

労働委員会事務局

人事委員会

選挙管理委員会

監査委員会

公安委員会

1.組織を知る

県の組織

■ 本庁（那覇市）

- 市町村の区域を越える業務
 - 国と市町村との調整業務
 - 都道府県全体で統一すべき業務など
例) 総合計画の策定、事業立案、予算編成など
- ▶ **スケールの大きな仕事** ができる



■ 出先機関（北部・中部・南部・宮古・八重山など）

- 県税の収税・課税業務
 - 道路・河川・港湾に係る用地買収、公物の維持・管理
 - 生活保護、保健所業務、技術指導・試験研究
- ▶ **県民・地域に密着した仕事** ができる





イントロダクション 主な内容

1. 組織を知る

県の役割／組織(機構図)

2. 仕事やキャリアを知る

求める人物像／主な役職／キャリアパス／
人材育成／充実した研修制度／国内外で活躍する職員

3. 働き方と仕組みを知る

給与等の仕組み／休暇制度／柔軟な働き方／
子育てとの両立支援



2.仕事やキャリアを知る

求める人物像

※沖縄県人材マネジメント
基本方針(R6.3月策定)

『沖縄21世紀ビジョン』に掲げた沖縄の将来像を実現するため、

- **個性と能力を存分に発揮しながら未来を切り拓き、**
- **ワーク・ライフ・バランス を大切にしながらともに支え合い、**
- **高い倫理観と使命感を持って**
- **県民の福祉の増進に貢献できる**

このような職員を求めています。





2.仕事やキャリアを知る

主な役職

■ 主な役職とイメージ ~このような方々です~

主事・技師	公務員の第一歩。仕事の土台となる課の運営業務や細かな役割をお願いする場合も。だからこそ居てくれないと職場が困ります。
主任	ある程度、経験を積んだ職員。主事・技師の方々の良き相談相手。ちなみに、沖縄県では事務職でも技術職でも「主任」
主査・主任技師	経験を積んだ業務のリーダー。頼りになる職場の先輩。
主幹	大きなプロジェクトや難しい案件を担当する仕事ができる人。班長のサポートもしてくれます。
班長	一番身近な存在の上司。班の総括としても他の班や他課との調整をしてくれますので、どんどん頼ってください。
課長	課のトップとして多くの責任と権限を持つ職。
統括監	部の「ナンバー2」として、部長の前にしっかりと調整を行う必要がある方。本庁では契約業務でお世話になることが多いです。
部長	部のトップ。最も身近にいる偉い方。一般職としては、最上級の職。多くの権限のほか、県議会等では知事に代わって答弁も行う。

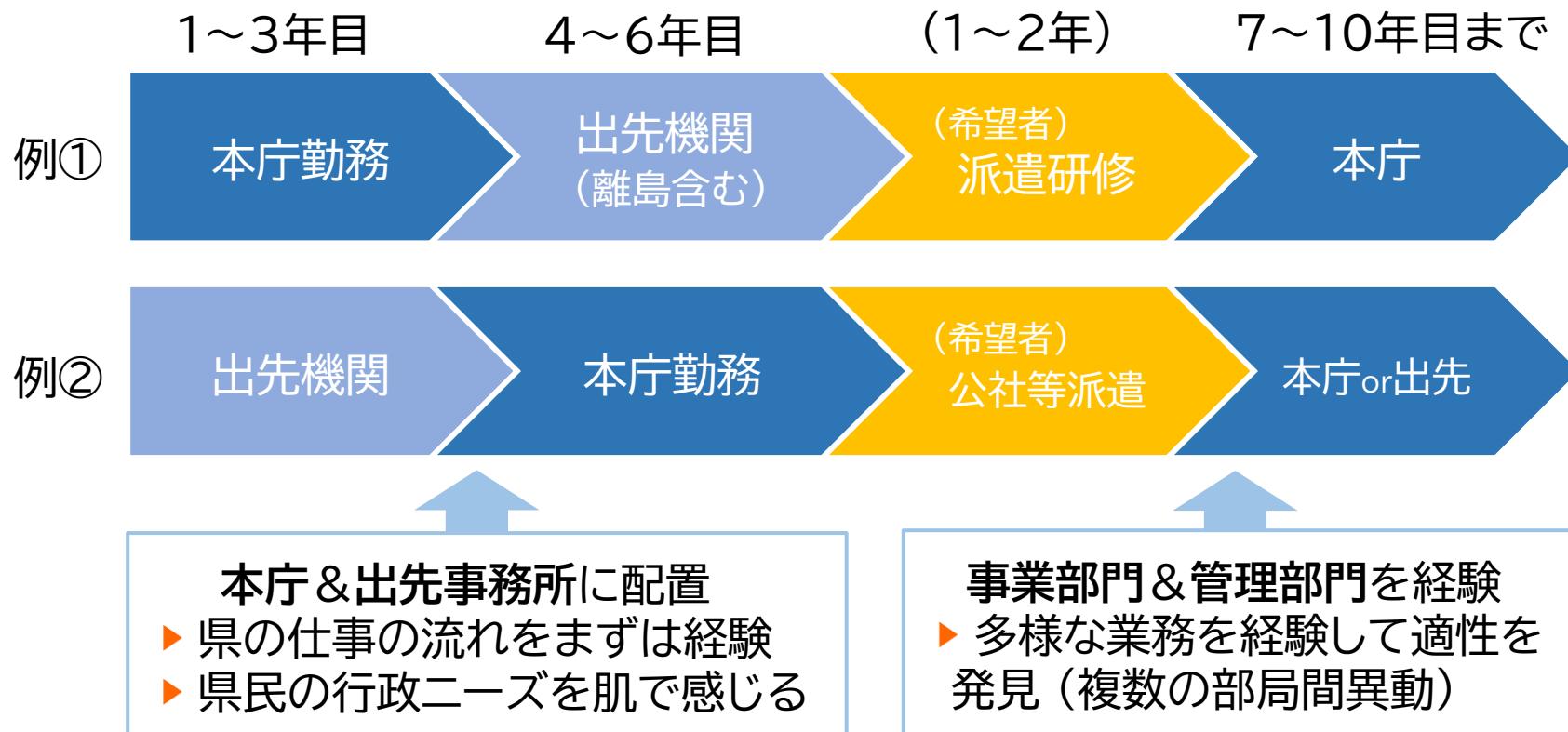




ジョブローテーション（部署異動）

2.仕事やキャリアを知る

キャリアパスのイメージ



■ 自己申告制度（毎年9月頃）

☞ 年に一度、自分がやりたいこと（希望部署など）を伝えるチャンスも！



2.仕事やキャリアを知る

人材育成

人材育成の推進

集合研修や専門研修、職場内での研修(OJT)など様々な機会を提供し、受講機会を確保することで、職務遂行に必要な知識・技能の向上を図ります。

- 階層別研修（**新規採用職員**向け、主任・主査級研修など）
- 研修所での選択研修（誰でも受講OK！）

- ① スキル向上研修（分かりやすい資料づくり講座、ファシリテーションなど）
- ② 県民サービス向上研修（クレーム対応など）
- ③ 実務研修（法制執務、財務諸表など）
- ④ 政策形成研修（ラテラルシンキング、RESAS）

■ 海外派遣研修

- ① 官民協働グローバル人財育成事業（今年度は、インドネシアのバリ島）
- ② 政策課題海外自主企画研修

■ フレッシュマントレーナー 制度

- ➡ 新採用職員の不安の解消や円滑な業務につなげるため、**相談役となる先輩職員**を「トレーナー」として配置。
- ➡ 研修だけでは学べない様々な業務ノウハウや習慣（書類の作成方法等）について相談することができます。





2.仕事やキャリアを知る

充実した 研修制度

■ 多様な人事交流

意欲の高い職員を対象に、公務内だけでは得がたい知識や技能の習得を図るため、県以外において実務を経験する研修派遣を積極的に実施しています。【公募制】

■ 令和7年度の主な派遣先

国関係府省	内閣府(9名)、総務省(2名)、消防庁、外務省、文部科学省、厚生労働省(2名)、農林水産省(2名)、経済産業省(2名)、国土交通省、環境省、デジタル庁、内閣官房、衆議院法制局、自治大学校
民間企業・ その他	那覇空港ビルディング(株)、日本トランスオーシャン航空、沖縄振興開発金融公庫、(財)地域活性化センター、沖縄県信用保証協会
被災地支援	石川県庁、七尾市、能登町(能登半島地震関係)





イントロダクション

主な内容

1. 組織を知る

県の役割／組織(機構図)

2. 仕事やキャリアを知る

求める人物像／主な役職／キャリアパス／
人材育成／充実した研修制度／国内外で活躍する職員

3. 働き方と仕組みを知る

給与等の仕組み／休暇制度／柔軟な働き方／
子育てとの両立支援



3.働き方と仕組みを知る

給料・手当

給与の概要

(行政職:上級採用職員の例)

■ 初任給 (基本給) **220,000円**

※ 職歴等により加算される場合も

■ 経験年数別の平均給与月額 10年目 約**28**万円
20年目 約**36**万円

■ 期末・勤勉手当 **4.6**月分/年

■ その他諸手当

通勤手当、住居手当、扶養手当、
時間外勤務手当、特殊勤務手当 など

前年度より
23,800円
アップ!!

前年度より
0.1月分
アップ!!

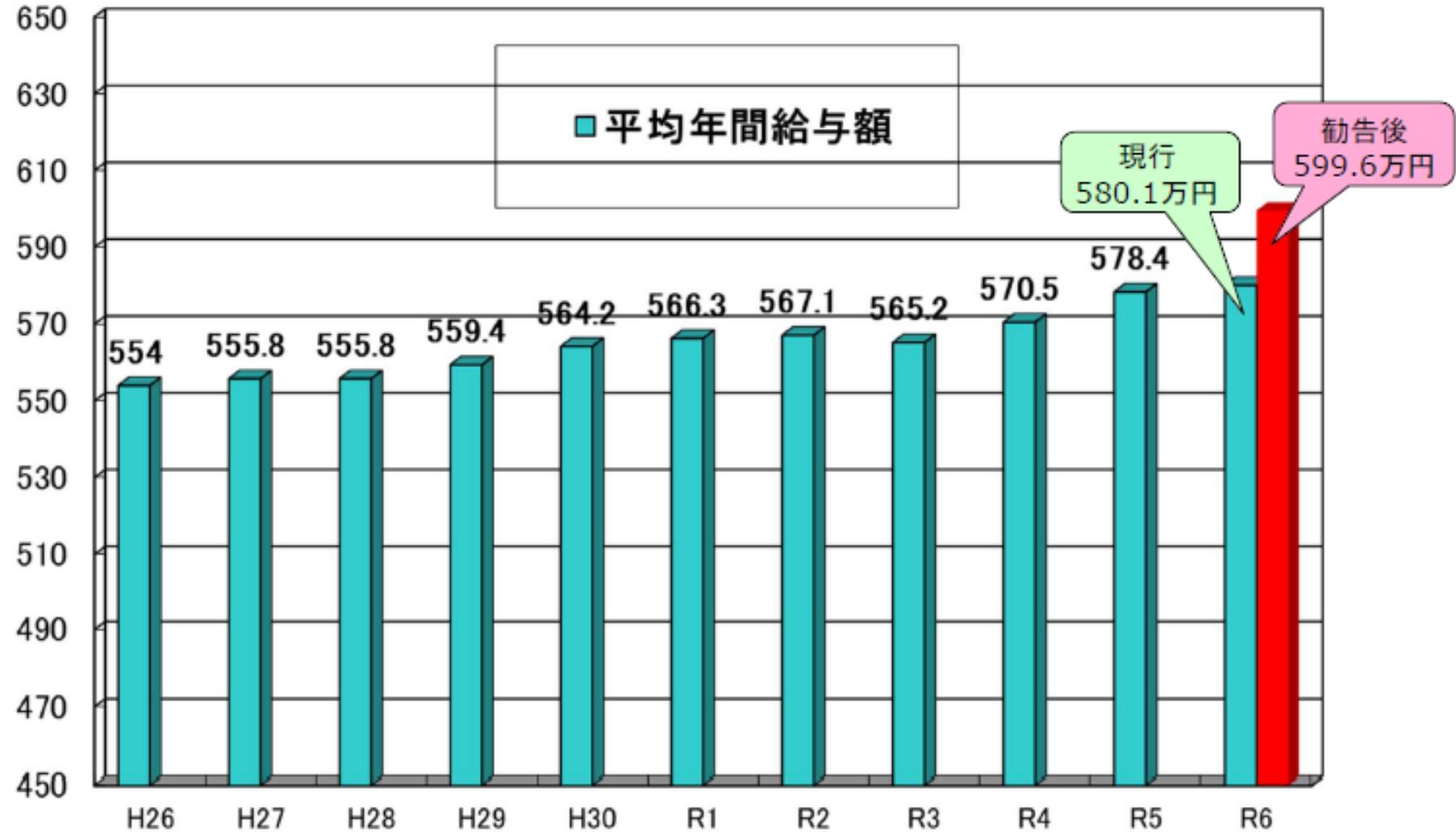




3.働き方と仕組みを知る

給料・手当

【参考】平均年間給与額の推移





3.働き方と仕組みを知る

勤務時間・ 休暇など



勤務時間

週38時間45分(平日8:30~17:15)、週休2日制

※任命権者、部門、職種によっては変則勤務をすることがあります。

休暇等

平均日数
16日!!

年次休暇(年20日)、夏季休暇(5日)、病気休暇、慶弔休暇、
子育て支援・家族看護休暇、産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇など

福利厚生

■ 共済制度

病気・負傷の場合の療養費支給、結婚・出産・災害などの際の給付や貸付など、職員や家族の福利厚生の増進を目的とした制度があります。

■ 職員住宅 (本島北部(名護市)、宮古島、石垣島、東京都)

■ 職員の健康管理

定期健康診断やストレスチェック、過重労働対策を実施しているほか、
希望者に対しては、保健指導・相談なども実施しています。



3.働き方と仕組みを知る

柔軟・多様な働き方

時差出勤制度の活用（毎日）

- 勤務時間を5つのパターン（右表）から選択でき、職員全体の約4割が活用しています。
- 出勤の混雑（ストレス）の緩和や子育て中の職員の保育園の送迎など、生活スタイルに応じて設定できることが大きなメリットです。

B勤務	7:30～16:15
C勤務	8:00～16:45
A（通常）	8:30～17:15
D勤務	9:00～17:45
E勤務	9:30～18:15

※1ヶ月単位で変更が可能

在宅勤務（月5回まで利用可）

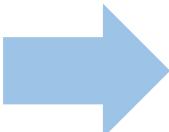
デジタル技術を活用して業務の効率性を高めるとともに、職員のワーク・ライフ・バランスを推進するため、今年1月から在宅勤務を本格導入しています。

【方法】



職場の「モバイルPC」を利用

【効果】



通勤時間



家族との時間や
自己研さん！

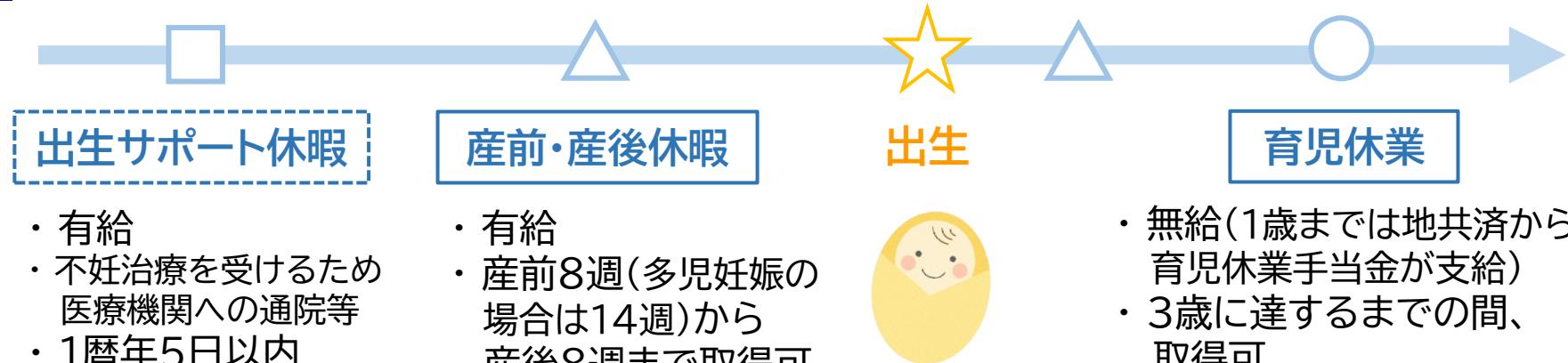


3.働き方と仕組みを知る

子育てとの 両立支援 (女性のケース)



子の出生前後



育儿休業から復帰後 (保育園の入園後)

- 育児のための部分休業
→「小学校就学前」まで、1日の勤務時間の一部を就業しないことができる(2時間以内)。
- 育児短時間勤務
→「小学校就学前」まで、勤務時間を短縮できる(週19時間25分～24時間35分)
- 子育て支援・家族看護休暇
→ 有給。配偶者や両親等の家族、「中学校就学前」までの子どもの体調不良時の看護や、学校行事への参加のために取得することができる。
※1年に5日(子どもが2人以上の場合は10日)を超えない範囲。

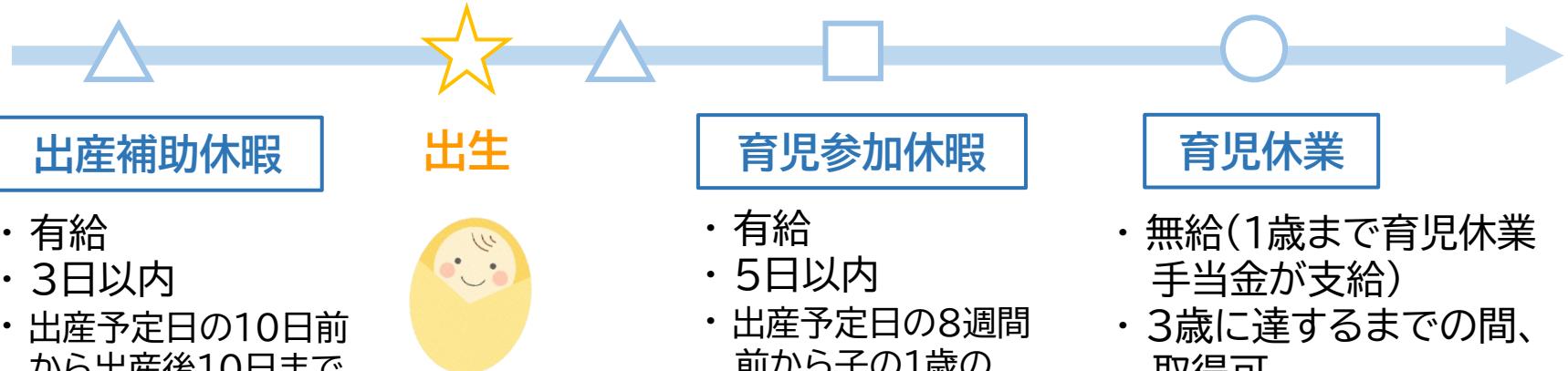


3.働き方と仕組みを知る

子育てとの 両立支援 (男性のケース)



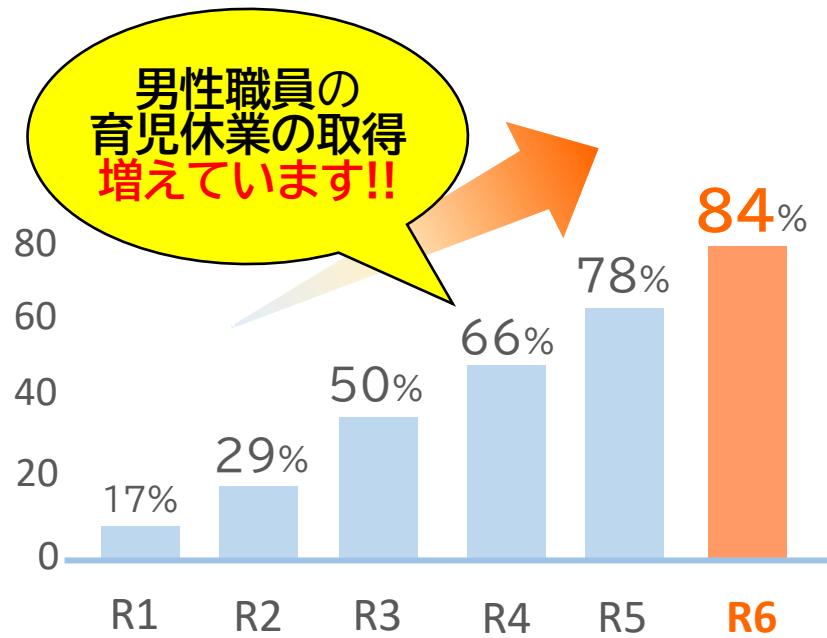
子の出生前後



育児休業から復帰後など

安心して子育てができるよう、女性職員と同じく、次の休暇制度等が利用できます。

- 育児のための部分休業
- 育児短時間勤務
- 子育て支援・家族看護休暇
- 不妊治療のためのサポート休暇(出産前)





ユニバーサルデザインの働きやすい執務環境へ



3.働き方と仕組みを知る

変わる 職場環境